

今月のニュース



きらりの事業について報告している様子



左:鈴木農林水産大臣、右:林総務大臣



視察後の集合写真

各部会の取り組みについては、きらりの事務局である小形崇洋さん(坂水)、前山将一さん(中三ツ井)、島貴美月さん(東方)、齋藤奏太さん(北方)が行い、それぞれきらりに関わった経緯なども含めて説明しました。その後、林総務大臣と鈴木農林水産大臣によじじまネットワークの「地域づくり」のモデルとして評価していただきました。

脳と身体をリフレッシュ

吉島地区の住民を対象とした介護予防事業が11月17日(月)に開催されました。今回は吉島地区住民14名に参加をいただき、講師には菅井新一さん(大塚地区)をお招きして「頭と体のリフレッシュ教室」というテーマで講座をしていました。

講座では、脳トレを兼ねた暗算することによる脳への刺激などを和氣あいあいとお手玉を使ったゲームなどをを行い頭を使いながら体を動かすことで、脳と身体をリフレッシュし認知症の予防にもなる内容になりました。日常的には意識して使わないような手足の動きや、

これまで脳と身体をリフレッシュしていました。これからの季節をちょっとした運動や頭を使うゲームで脳と身体をリフレッシュしていただきました。また、自宅でも実践できるものを多く紹介しました。また、自分だけのグラスを作ることができます。参加者それぞれが思い

12月7日(日)、林芳正総務大臣と鈴木憲和農林水産大臣がきらりよじじまネットワークを視察訪問されました。今回は、山形県の視察として山形市の「紅の蔵」、「やまとクリエイティブセンターQ1」、そして「きらりよじじまネットワーク」の3ヶ所を視察されました。視察では、茂木町長にも同席いただき、遠藤理事長の挨拶をはじめとして、高橋理事から法人の概要や取り組みについて説明しました。また、きらりに4つの部会(自治部会、衛生部会、福祉部会、教育部会)の取り組みについて詳しく説明させていただきました。

各部会の取り組みについては、きらりの事務局である小形崇洋さん(坂水)、前山将一さん(中三ツ井)、島貴美月さん(東方)、齋藤奏太さん(北方)が行い、それぞれきらりに関わった経緯なども含めて説明しました。その後、林総務大臣と鈴木農林水産大臣によじじまネットワークの「地域づくり」のモデルとして評価していただきました。

終了後の会見では、林総務大臣より「きらりよじじまネットワークの取り組みにはひたすら圧倒された。全体を通してこうしたまちづくりは人だなと強く思つた。こうした地域運営組織が全国に拡大し、その活動を後押しできました。

きらりよじじまの取り組みが、全国の「地域づくり」のモデルとして評価していただけたことはとても光榮で名譽なことです。それと同時に、これからも「住みやすい、住み続けたい地域」を目指して地域づくりに取り組んでいきたいと再確認した視察となりました。

きらりよじじまネットワークは、吉島地区交流センターで開催されました。

講師には(株)Gaz.工房の原社長をお招きし、計4回に亘ってSNSの正しい使い

方や危険性、活用方法などを教えていただきました。

今回は最後の研修会となり、SNSを活用して地域をPRする方法や対策についてお話しいただき、今後配信を行う吉島地区的PR動画をより効果的に発信するためのポイントを学ぶ機会となりました。

また、SNSで発信する際に入重要なテクニックについても教えていただき、現地で地域活性化の魅力を見出し、人を動かす』についての研修会が11月14日(金)開催されました。

講師には(株)Gaz.工房の原社長をお招

